

一三六六番

あすかがは

七瀬の淀に

住む鳥も

心あれこそ

並立てざらめ

一三六七番

三国山 木末に住まふ

むささびの

鳥待つこと

く 我待ち瘦せむ

一三六八番

岩倉の 小野ゆ秋津に

立ち渡る

雲にしもあれ

や 時をし待たむ

一三六九番

天雲に 近く光りて

鳴る神の

見れば恐し

見

ねば悲しも